



重吉葬儀社のはじまり

弊社の始まりは明治40年、曾祖父重吉三作が創業した『重吉葬具店』です。小松の地域の皆様に支えられ、100年以上に渡り1万3千件を超えるご葬儀のお世話をさせて頂いております。

祖父重吉義雄、父重吉定雄にバトンが引き継がれ、私が平成28年に4代目の経営者として代表取締役に就任いたしました。私が社長になった時点で有限会社から株式会社社に組織変更し、今現在は重吉高行、重吉展光の第2人と一緒に葬儀社を運営しております。

第三者機関からの高い評価

葬儀社格付機関である、日本儀礼文化調査協会「JECIA」より安心の証として小松市で初めて『最高格付5つ星認定』を頂いたり、全葬連(全日本葬祭業協同組合連合会)から『葬祭サービスマイスター遵守事業所』として認定を頂いたり、第三者機関からの評価を非常に高く頂いています。

私どもが最も大切にしていること

結果的にこうした高い評価を頂いているのですが私どもが最も大切にしているのは『お客様との信頼関係やご縁』です。葬儀をされる方が葬儀社に求めるものとは『滞りなく安心して葬儀を執り行ってくれること』に他なりません。

しかし私どもではお客様の想像を超えるような『ありがとうが溢れた、あたたかいお葬式だった』と感じてもらいたいことを目指しています。言い換えれば

『お葬式が悲しみだけの式ではなく、唯一無二の幸せの催事になる』ことを望んでいるのです。

お客様からの嬉しいお声

『貴方の式場の葬儀はひと味違う』『私の時も貴方に送ってもらいたい』と言っていただけでも多いのですが、私どもには葬儀社には珍しく『お客様からの嬉しいお声』が数多く届けられるのが特徴です。沢山のお声の中から一部を紹介させて頂きま

◇小松市 K様

大光さんのお葬式をお任せするのは実はこれです。三回目、それでもお願いするたびに感動を頂けるのは、スタッフの皆様のおかげが伝わってくるからです。洋服を着ていた祖母愛用のミシンを飾ることを提案して頂いたときは軽い気持ちで了承しましたが、葬儀場で実際に飾られているのを見た瞬間、そこに座って作業する祖母の姿が目につかぶように涙がこぼれました。

◇小松市 A Y様

祖母が綺麗にお化粧して寝ている姿は子供も怖がらず、参列して頂いた方に良い姿を見てもらえたいと思います。そして『私もおばあちゃんみたいに見送ってほしい』『おばあちゃん幸せや』と言ってもらえて愛と感動の溢れるお葬式となりました。

◇小松市 K F様

何気ない会話の中で話したことを現実に表示していただいた時は胸がいっぱいになり感動しました。好きだったものをきりげなくご用意してください。火葬場へ行く時もわざと遠回りしていただき、大好きな釣りで通っていた思い出深い海を最後に見せてあげられたことが何よりも嬉しかったです。

お客様に寄り添える体制作り

こうしたお声をお聞きする度に『この仕事をしていて良かった』と胸をなでおろすのですが、私どもがこうした細やかな心遣いが出るのは、『一担当一担当』をひいており、打ち合わせから納棺、葬儀の式

運営、葬儀後のサポートまで担当者が変わることなく一貫してお世話をさせて頂いているからなのかもしれない。しれません。

葬儀社にご依頼下さる皆さまは気持ちに不安定だったり、様々な不安をお持ちなのですが、そうしたお客様に寄り添い、不安を少しでも軽減して頂くために私どもではこのような方式を採らせて頂いています。

また担当者は、葬祭ディレクター(厚生労働省が認定する葬祭ディレクター)技能審査制度の資格を保有している葬祭のプロフェッショナルですので、経験豊富なスタッフが、形式やスタイル、宗派や地域の習慣に合わせ最適なご提案できるのも私どもの強みです。

心のドクターの仕事とは?

家族以外で故人に最後に寄り添うことが出来るのが『心のドクター』の仕事、選ばれし者にしか触れることが出来ない神聖な行為であると考えています。曾祖父、祖父、父、そして私とその神聖なバトンが受け継がれてきたのですが、『葬送師として生きる』のが自分のさだめである』と小さいころから心の何処かで覚悟は決まっておりました。後を継ぐことに対する躊躇は全くありませんでした。

セレモニーホールのリニューアル

元々固定概念はあまりなく、色々なアイデアが浮かんでくるのが私の長所なのですが、私が代表になってから色々な改善を重ねてきました。その中の一つが『セレモニーホールのリニューアル』です。お通夜の食事をもっと大切な方を偲びながら価値のある時間にして欲しい』といった想いから『ビュッフェスタイル』を取り入れたり、葬儀会館を『リゾートホテル』の様に設計したり、私どものこだわりを感じてもらえるような作りをしています。

○メインホール

メインホールはモノトーンを基調とした色使いの落ち着いた空間です。ホール中央の目を引くシャ

ンデリアの光が悲しいだけの式ではなく『思い出深い感動の儀式』を演出いたします。従来の葬儀場の雰囲気を一変する『荘厳な式場』になるように思いを込めました

○エントランスロビー&ラウンジ

ホテルのような落ち着きと優雅さを兼ね備えた空間です。ご遺族様が一番最初に足を踏み入れるエントランスは、ご葬儀への不安な気持ちを少しでも和らげていただけるように『思いを込めました。ご参列下さる皆様にはあたたかい雰囲気、ラウンジでゆっくり過ごして頂くこともできます。

○リビングルーム

控室はご自宅のような温かい雰囲気のリビングルームをご用意。ベッドルームと洗面浴室もごさいます。ダイニングホールはお通夜のあとの食事やご親戚の待合スペースとして個人様を偲び語らう場所にご利用いただけます。

